

モニタリング結果報告書 (平成28年度)

1. 施設概要

施設名(一括募集)	相模湖公園・相模湖漕艇場	
所在地	相模原市緑区与瀬	相模原市緑区与瀬340番地
サイトURL	http://www.sagamiko.info/	http://kra.or.jp/
根拠条例	神奈川県都市公園条例	神奈川県立相模湖漕艇場条例
設置目的(設置時期)	公共の福祉の増進(S33年11月)	ボートの競技等を通じて県民のスポーツの振興を図るため(S38年)
指定管理者名	一般社団法人相模湖観光協会・特定非営利活動法人神奈川県ボート協会グループ	
指定期間	H27.4.1~H32.3.31	
施設所管課	都市公園課(厚木土木事務所津久井治水センター)	スポーツ課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応
<p>(一体としてのコメント)</p> <p>相模湖公園と相模湖漕艇場を一体で管理運営することにより、大雨後の漂着ごみの回収が迅速になったほか、合同でAED講習会を実施するなど、一体での管理運営の効果が見られる。今後も、相模湖公園と相模湖漕艇場の更なる連携を期待する。</p> <p>■相模湖公園について</p> <p>利用状況の評価がA評価、利用者の満足度の評価がS評価、収支状況の評価がA評価となったことから、平成28年度の3項目評価についてはA評価とした。</p> <p>3項目以外の各項目の評価については、日ごろから、適切に管理運営は行っていたが、しつこい苦情に対し、適切な対応ができなかったため、トラブルに発展する事態となった。</p> <p>たとえ、イベント中で様々な対応に追われている状況にあつて、無謀な苦情・要望であっても、大きな声を出すことなく、毅然とした態度で繰り返し丁寧に説明する必要があるとともに、複数人で対応する必要があった。</p> <p>今後は、利用者からの要望・苦情への対応方法について、職員への研修を実施するなどの対策を検討してほしい。そして、引き続き、地域のことに詳しい地元観光協会の利点を生かし、様々な団体と連携しながら多数の魅力あるイベントを開催し、公園の魅力アップと利用者数の向上につなげてほしい。</p> <p>■相模湖漕艇場について</p> <p>天候不順による大会中止等があり、昨年度より利用者等は減ったものの、提案に基づく指定管理業務を着実に実施するとともに、学生利用日の事前調整や、障害者等の利便性の向上を図り、利用者に対するサービスの向上に努めた結果、利用状況の評価がS評価、利用者の満足度の評価がS評価、収支状況の評価がS評価となったことから、平成28年度の3項目評価についてはS評価とした。今後は、提案に基づく指定管理業務を着実に実施するとともに、相模湖公園とより充実した連携を行い、幅広い利用者層に対するサービスを充実強化することで、更なる利用拡大に努めてほしい。</p>

<各項目の詳細説明>

■相模湖公園について

◆管理運営等の状況

提案に基づいて様々なイベントを実施し、地元湖畔商業関係者に配慮しながら管理を実施した結果、計画以上の来園者があるなど、適切な管理運営等の実績を上げた。維持管理業務においては、サクラの補植やベンチ、花壇の修繕など、30万円未満の修繕業務について、当センターと調整しながら積極的に実施したほか、地域の小学生と連携して花植えを実施し、事業計画書以上に丁寧に花の維持管理を行うなど、極めて良好な実績を上げた。

◆利用状況

提案に基づいて、相模湖やまなみ祭やさがみ湖湖上花火大会などの事業を実施した結果、来園者については、前年比では97.3%に留まったものの、目標数値では108%の増となり、A評価となった。

◆利用者の満足度

県が年間5回調査を実施し、「満足」「どちらかといえば満足」の回答割合が94.4%と極めて良好な実績を上げたため、S評価となった。

◆収支状況

計画以上の来園者があったため、駐車場収入の実績が当初計画額より927千円増となるなど、指定管理者の努力がうかがえた。支出については、残金41千円と概ね計画額どおりの支出で、収支比率は101.95%と良好な実績を上げており、A評価となった。

◆苦情・要望等

苦情については、できるだけ出ないように管理運営を行っている姿勢はうかがえるが、苦情者への対応が適切でなかったため、トラブルに発展する事態が1件発生した。苦情者への対応方法について、指定管理者として、職員に研修を行うなどの対策が必要であると思われる。

◆事故・不祥事等

事故・不祥事については一件もなく、日ごろから公園利用者や関係団体等と良好な関係を維持しているとともに、安全対策もしっかり行っていることがうかがえ、極めて良好な実績を上げた。

◆労働環境の確保に係る取組状況

県による監査や労働基準監督署からの指摘事項はなく、セルフチェックシートのとおり、良好な労働環境の確保に取り組んでおり、極めて良好な実績を上げた。

◆その他

なお、平成28年度の3項目評価についてはA評価とした。今後は、引き続き、利用者の満足度の維持に努めるほか、地域活性化等のためのイベントの開催や、利用客の安全に配慮した管理運営に努めてほしい。また、利用客と大きなトラブルとなることのないよう注意してほしい。

■相模湖漕艇場について

◆管理運営等の状況 提案に基づいて指定管理業務を着実に実施するとともに、高校生の年間利用日を事前に把握し、一般や大学生との利用の円滑な調整を行い、各大会に向けた合宿等への全面的な協力や、障がい者やシニア層のボート競技への受入れ体制の充実など幅広い利用者へのサービス向上に努めた。また、維持管理業務については、掲揚ポール塗装や県有艇の修繕、利用者の保管艇の修繕、自動ドアのリニューアル、車いす対応として階段にスロープを設置するなど快適なサービスの提供に努めた。さらに、東京オリンピック・パラリンピック競技大会の事前キャンプ地候補として、再度視察を希望する国もあり、一層のPRに努めた。

◆利用状況 年々高校・大学等の入部者が減少傾向となっているほか天候不順による大会の中止等もあり、昨年度より、利用者は減ったが、幅広いニーズをもつ利用者層へのサービスの向上を図ったことにより、利用者数が目標達成率112.6%となり、S評価となった。

◆利用者の満足度 7月と10月に実施し、上位2段階の回答割合が97%となり、S評価となった。回収率は、前回より下がってしまったため、今後は、利用者への呼びかけを工夫するなどの取組により、回収率の向上に努めてほしい。

◆収支状況 新規の利用者の獲得や、艇庫における艇の保管台数の増加の一方で、年々高校・大学等の入部者の減少傾向となっているほか天候不順による大会の中止等により前年度と比べ、減収となった。また利用者の利便性の向上のため修繕等を行ったことから支出は微増したが、収支差額が2,158千円のプラスとなったためS評価となった。

◆苦情・要望等 施設の経年劣化、老朽化による故障、破損に関する要望など指定管理者に起因しない要望が多数寄せられたが、職員による事前点検回数を増やしたり、簡易的な修繕を施すなど、適切な対応に努めている。

◆事故・不祥事等 職員による施設の日常点検を実施するなど適切な施設運営に努めた結果、事故や大きな怪我は発生しなかった。

◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。

◆その他 なお、平成28年度の3項目評価についてはS評価とした。今後は、提案に基づく指定管理業務を着実に実施するとともに、相模湖公園とより充実した連携を行い、幅広い利用者層に対するサービスを充実強化することで、更なる利用拡大に努めてほしい。

3項目評価		
S	<参考> 相模湖公園	<参考> 相模湖漕艇場
	A	S

S：極めて良好
A：良好
B：一部改善が必要
C：抜本的な改善が必要
※3項目評価とは、3つの項目（利用状況、利用者の満足度、収支状況）の評価結果をもとに行う評価をいう

【相模湖公園について】

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	8月	来園者からの苦情を適切に対処しなかったため、民事訴訟に発展した。
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	随時	特になし。
随時モニタリングにおける指導・改善勧告等の有無	有・無	指導・改善勧告等の内容
		来園者からの苦情については、例え無謀でしつこい要求であっても、大きな声を出すことなく、丁寧かつ毅然と対応するよう県から指定管理者に口頭注意を行った。

4. 管理運営等の状況

〔 指定管理業務 〕

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
4月に相模湖公園さくら祭りのイベントを実施。相模湖公園さくら祭り実行委員会と連携し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は300人	4月3日に相模湖公園さくら祭りのイベントを実施。相模湖公園さくら祭り実行委員会と連携し、音楽好きの利用者のニーズを掘り起こすことができた。イベントの参加者数は300人であった。	天候にも恵まれ、提案どおりの効果があった。
4月に相模湖やまなみ祭りのイベントを実施。相模湖やまなみ祭り実行委員会と連携し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は10,000人	4月29日に相模湖やまなみ祭りのイベントを実施。相模湖やまなみ祭り実行委員会と連携し相模湖地域や山梨、東京から多数の来園者や出演者が訪れ盛大にイベントがおこなわれた。イベント参加者は8,000人であった。	過去20回実施した歴史のあるイベントであり、天気にも恵まれたが、参加者は目標数に達しなかった。
6～7月で相模湖公園七夕祭のイベントを実施。相模湖観光協会と連携し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は500人	6月24日～7月7日で相模湖公園七夕祭のイベントを実施。相模湖観光協会と連携し、近隣の保育園3園、幼稚園1園の参加があった。園児には事前に配布した短冊を持参してもらい、当日の参加者と一緒に竹に短冊を飾ってもらった。参加者の満足度は高く、参加者数は500人であった。	提案どおりの効果があった。このイベントは10回目を迎え、保育園や幼稚園の年間行事として恒例になっており、来園者の家族に人気がある。
8月にさがみ湖湖上花火大会のイベントを実施。相模湖観光協会と連携し、利用者数の向上を図る。 計画参加者数は50,000人	8月1日にさがみ湖湖上花火大会のイベントを実施。商工会や地元警察等とも連携し、花火大会の運営は滞りなく実施でき、イベント参加者は、相模湖公園を中心とし50,000人であった。 ただし、ダンスイベントに際して、カメラマン席を設けるという来園者の要望に対し、適切に対処ができなかったため、トラブルに発展する事態となった。	苦情対応以外については、滞りなく運営され、提案どおりの効果があった。
9月にさがみ湖野外バレエフェスティバルのイベントを実施。地元企業であるアトリエヨシノ（バレエ衣装の会社）や相模湖観光協会と連携し、利用者数の向上を図る。 計画参加人数は3,000人	9月18日にさがみ湖野外バレエフェスティバルのイベントを実施。地元企業のアトリエヨシノ等とも連携し、滞りなくイベントを実施できた。 天候は曇天であったが、参加者数は1,500人で満席となった。 9月19日は雨のため中止となった。	指定管理業務としては、2回目の実施（初回は平成21年度）であったが、イベント当日は滞りなく運営され、提案どおりの効果があった。

12月に相模湖公園イルミネーションのイベントを実施。相模湖観光協会と連携し、利用者数の向上を図る。 夜の計画参加者数は800人	12月3日～12月31日で相模湖公園イルミネーションのイベントを実施。相模湖駅周辺のほか、近隣の民間施設や周辺道路と共同し、イルミネーションを設置した。夜の公園来園者は900人。	計画どおりの効果があった。近県からの見物客が多いが、県内、地元の来園者にも多く立ち寄っていただいている。
--	---	--

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等

5. 利用状況

評価	<<評価の目安>> 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	前々年度	前年度	平成28年度
利用者数※	165,204	177,640	172,795
対前年度比		107.5%	97.3%
目標値	114,000	160,000	160,000
目標達成率	144.9%	111.0%	108.0%

目標値の設定根拠： 前々年度：平成22年度実績の95%
平成27、28年度：提案書記載の目標値

利用者数の算出方法（対象）： 駐車台数から推計

[参考：最大利用可能人数／年]

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	県により休日3回、平日2回の計5回調査	指定管理者による適切な公園管理により、前年度と同様に利用者から高い満足度を得ている。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 公園の管理運営状況を総合的に見るといかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 125 / 125 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	69	49	5	0	2	125	全体的にきれいに管理されている
回答率	55.2%	39.2%	4.0%		1.6%		
前年度の回答数	82	52	10	7	0	151	
前年度回答率	54.3%	34.4%	6.6%	4.6%			
回答率の対前年度比	101.6%	113.8%	60.4%	0.0%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 公園スタッフの対応はいかがでしたか？

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 52 / 52 = 100.0%

配布(サンプル)対象 公園利用者

	満足	どちらかといえば満足	どちらでもない	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	26	17	8	1	0	52	やさしい
回答率	50.0%	32.7%	15.4%	1.9%			
前年度の回答数	39	13	4	3	0	59	
前年度回答率	66.1%	22.0%	6.8%	5.1%			
回答率の対前年度比	75.6%	148.4%	226.9%	37.8%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

--

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイ ナスが生じている)：85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				収入合計	支出の状況	収支の状況	
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳			支出	収支差額
前々年度	当初予算	32,092	0	16,400	駐車場16,400	48,492	48,492	0	100.00%
	決算	32,092	0	12,566	駐車場12,566	44,658	44,586	72	100.16%
前年度	当初予算	37,500	0	12,300	駐車場12,300	49,800	49,800	0	100.00%
	決算	37,500	0	12,501	駐車場12,501	50,001	49,792	209	100.42%
28年度	当初予算	37,400	0	12,400	駐車場12,400	49,800	49,800	0	100.00%
	決算	37,400	0	13,327	駐車場13,327	50,727	49,759	968	101.95%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 (単位:千円)
28年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
H28.6	5,738	舗装補修 A=300m ²
H29.3	1,496	飲料水用ポンプ交換工 N=1基
H29.3	497	ベンチ修繕工 N=6基

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 300千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	なし		
職員対応	対面 2 件	①さがみ湖湖上祭でのダンスイベントにおいて、自分の気に入る場所で撮影できないため、カメラマン席を設けると繰り返し主張。要望には対応できないことを何度も伝えたが、納得されず、指定管理者に挑発的な言動を行っていたとのこと。 ②上記苦情者が1月17日に公園管理事務所及び観光協会本部に来られ、8月1日の指定管理者の対応に関する苦情の申し入れと、民事訴訟を行う方がいいのかと繰り返し主張されたとのこと。	①カメラマン席を設けることはできないことを何度も説明したが、相手は納得せず、指定管理者職員に挑発的な言動を行いはじめたため、強い口調で断ったところ、指定管理者から暴行を受けたと警察に連絡がいき、警察から事情聴取される事態となった。(H28.8.1時点では暴行の事実は確認できず、警察も暴行なしで対処した。) ②民事訴訟については、特にとめはしなかった。現在(H29.7時点)、民事訴訟中。
	電話 1 件	さがみ湖湖上祭でのダンスイベント実施に当たり、音響調整をいていたところ、音がうるさいとの苦情あり。	即時音量を下げ対応した。
その他	なし		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
なし	① ② ③ ④ ⑤ ⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。

【相模湖漕艇場について】

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	平成28年5月25日 平成28年12月14日 平成29年2月7日	
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有 <input type="radio"/> 無 <input checked="" type="radio"/>	指導・改善勧告等の内容

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
開場時間の拡大の実施	開場時間の拡大も利用者には定着しつつあり、周辺の湖面での利用者(遊船業者)との調整がしやすく、大変使用しやすいとの意見があった。	
スポーツ・地域振興への対応	県民対象・市内中学生のボート教室参加者(8回:195人) 高校総体・国体選考会(251人) 市民レガッタ(215人) 相模湖レガッタ(936人) ボート競技者・愛好者による利用(23758人) 他に相模湖公園内のイベントに協力するなど、地域振興の一翼を担った。	
施設・設備の維持管理	小さな段差等については、職員の手によりスロープをつくり、車椅子の利用者からも安心して利用できると好評だった。浮桟橋等についても、傷みが激しいが、指定管理者による簡易修繕により、安全の確保に努めている。	
安全対策について	利用者には必ずトランシーバを携帯させて、安全対策をとっている。相模湖公園と合同で消防署職員によるAED講習を受け、安全に対する認識を高めた。	
その他	相模湖公園との一体化で、協力体制も取れてイベント等では職員同士の連携が出来ている。また、相模湖公園と合同で利用者や観光客に対する危険箇所に対する注意喚起を行う看板を掲示した。	一体的な管理を行う相模湖公園及び地元との連携を図り、更なるサービスの向上に繋げてほしい。

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
S	

	前々年度	前年度	平成28年度
利用者数※	27,007	22,008	20,263
対前年度比		81.5%	92.1%
目標値	14,000	15,000	18,000
目標達成率	192.9%	146.7%	112.6%

目標値の設定根拠： ボート競技人口の増減や隔年毎の大会開催の有無を考慮して設定

利用者数の算出方法（対象）： 利用申込書及び艇庫利用者

[参考：最大利用可能人数／年]

						合計
定員						
年間利用可能日数						
最大人数※	0	0	0	0	0	0
稼働率	%	%	%	%	%	

※ 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

6. 利用者の満足度

評価	《評価の目安》 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価はサービス内容の総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	年間2回を7月・10月に調査	利用者へのサービスの強化に対する「満足」と施設の安全面での「どちらかといえば不満」という声が多かった。

[サービス内容の総合的評価]

質問内容 施設管理に対する満足度について、該当する箇所には○を付けてください。（総合評価）

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数／配布数 258 / 273 = 94.5%

配布(サンプル)対象 施設利用者

	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
サービス内容の総合的評価の回答数	121	104		7	0	232	
回答率	52.2%	44.8%		3.0%			
前年度の回答数	98	125	65	4	0	292	
前年度回答率	33.6%	42.8%	22.3%	1.4%			
回答率の対前年度比	155.4%	104.7%		220.3%	0.0%		

（複数回実施した場合は、平均値を記載。）

[参考：職員の対応状況]

質問内容 施設管理に対する満足度について、該当する箇所に○を付けてください。(職員の接客・案内・説明等について)

実施した調査の配布方法 利用者に直接配布 回収数/配布数 258 / 273 = 94.5%
 配布(サンプル)対象 施設利用者

	満足	どちらかといえば満足	普通	どちらかといえば不満	不満	合計	満足、不満に回答があった場合はその理由
職員の対応状況の回答数	157	70		4	0	231	
回答率	68.0%	30.3%		1.7%			
前年度の回答数	124	103	61	4	0	292	
前年度回答率	42.5%	35.3%	20.9%	1.4%			
回答率の対前年度比	160.0%	85.9%		126.4%	0.0%		

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

7. 収支状況

評価	<<評価の目安>> 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B (概ね計画どおりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)：85%未満
S	

[指定管理業務]

(単位：千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	20,189	1,830			22,019	22,019	0	100.00%
	決算	20,189	3,281			23,470	21,595	1,875	108.68%
前年度	当初予算	14,086	1,914			16,000	16,000	0	100.00%
	決算	14,086	3,935			18,021	15,568	2,453	115.76%
28年度	当初予算	14,086	1,914			16,000	16,000	0	100.00%
	決算	14,086	3,725			17,811	15,653	2,158	113.79%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 (単位：千円)
 28年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>

[参考：県が支出した修繕工事費] ※県が支出する計画修繕工事・各所當繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))
平成29年3月	489	小便器自動洗浄システム改修工事(448.2)
平成29年3月	671	自動扉改修工事(670.7)

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： 300千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数	概要	対応状況
施設・設備	件	なし	
	件		
職員対応	件	なし	
	件		
事業内容	件	なし	
	件		
その他	件	なし	
	件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	①発生時の詳細な状況 ②県職員による確認の状況（内容及び実施日を記入） ③その後の経過（現在に至るまでの負傷者の状況、再発防止策等） ④施設に対する問題点の指摘やクレームの有無（有の場合は概要を記入） ⑤原因及び費用負担の有無（費用負担が有の場合は内容および負担者を記入） ⑥記者発表の有無（有の場合はその年月日を記入）
なし	①②③④⑤⑥

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。